

# 令和6年度 後期 学校評価

鬼北町立日吉中学校

【評価基準】 A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:そう思わない

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
確かな学力	1	①ICT機器を効果的に活用し、分かる授業を実践している。	教師	「わかった」「できた」を一人一人が実感できる授業に努めている。	A	A	○生徒も教員もICTの課題に慣れてきて、充実した学習ができてきている。 ○自己表現をさせる時間が取れるように、教材研究をしている。 ●宿題やICTの学習、「けてぶれ学習」のいずれに対しても、きちんとした見取りが必要である。
			保護者	お子さんは、授業内容を理解している。	A		
			生徒	授業内容をよく理解している。	A		
	2	②基礎・基本を定着させ、学びに向かう力を育てている。	教師	家庭学習の指導や内容を工夫し、主体的な学びにつなげている。	A	A	○「けてぶれ学習」が定着している生徒は、週末の家庭学習が充実してきたと感じる。 ○前期よりも評価が上がっている。「けてぶれ学習」やICTを活用しての学習が少しずつ定着している成果だと感じる。 ●今の生徒たちは、毎日の宿題をするのにいっぱいいっぱいの状態。これからも週1ペースの「けてぶれ学習」を続けていきたい。
			保護者	お子さんは、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	A		
			生徒	学び方を理解し、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	B		
	3	③じっくり考えて判断し、表現する力を育てている。	教師	教科学習や郷土学を充実し、思考力・判断力・表現力を育てている。	A	A	○一人一研究の取組は、生徒にとって大きな学びの場となっている。 ○教科・郷土学共に体験を通して力を付けられている。 ●練習問題をじっくり考える時間を確保したい。
			保護者	郷土学等によりお子さんの考える力や表現力が育ってきている。	A		
			生徒	じっくり考え、伝えたいことを的確に書いたり話したりできる。	A		
評価委員意見	<p>○学力の差や家庭状況にも一部気になるところがある。 ○宿題は減らさなくても（もう少し多くても）いいと思う。 ○地域の人と関わりを持つことは、将来必ず役に立つと思う。 ○人数が少ないと学力の差があれば顕著に表れ、日頃の指導も大変であろうとお察しします。先生方の努力に頭が下がります。 ○成果が始めている「けてぶれ学習」という新しい着想での取組に期待している。 ○少人数での授業の工夫や個々へのきめ細かな対応で、生徒の学力向上に取り組まれていると感じた。 ○中学生になると、宿題に親が入り込めないのが、どれだけやっているか分からない。</p>			学校 の 対 応	<p>○1人1台端末の活用は、家庭学習での利用も含めて常態化してきた。授業での活用方法など、より効果的な活用方法を研修する。 ○少人数の利点を生かして、きめ細かな生徒の実態把握に努める。 ○「計画・テスト・分析・練習」の流れを重視した家庭学習（けてぶれ学習）を取り入れたことで、生徒の家庭学習の内容が充実してきた。今後もしっかりと見取りをしながら、生徒の自ら学ぶ意欲を育成していく。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
豊かな心	4	④地域の文化や自然を学校教育に生かしている。	教師	地域のよさを生かした教育活動に努め、豊かな心を育てている。	A	A	○一人一研究などで地域の良さが育てられている。 ○地域の方の協力のおかげで充実した一人一研究になった。
			保護者	地域のよさが学校教育に生かされ、豊かな心が育っている。	A		
			生徒	進んで、地域の文化や自然、人々との交流に取り組んでいる。	B		
	5	⑤将来への展望を持つよう学校生活の充実に努めている。	教師	キャリア学習を進め、充実した学校生活が送れるようにしている。	A	A	○地域で様々な経験をしながら将来のことを考えている生徒が多い。 ●学級活動の時間でキャリア教育をすることが少なく、将来の話をする機会が少なかった。計画的に将来についての学習を進めたい。
			保護者	お子さんは、将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	A		
			生徒	将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	A		
	6	⑥挨拶や時と場に応じた言動が身に付くようにしている。	教師	挨拶や時と場に応じた適切な言動ができるよう指導している。	A	A	○地域の方にも大きな声で挨拶できている。 ●気持ちのよい挨拶も言葉遣いも、子供たちはできていると思っているが、そうでない場合もあるので、その都度指導していく。
			保護者	お子さんは、挨拶や時と場に応じた適切な言動ができる。	A		
			生徒	気持ちのよい挨拶や時と場に応じた適切な言葉遣いができる。	A		
評価者 学校関係者 委員意見	<p>○自分が暮らすこの日吉が好きだと言える（思える）ような3年間を過ごしてほしいです。</p> <p>○将来何をしたいかによって、そのためにはどういう進路に進むかを考えさせることが大切。大学進学が最終目的ではないので。</p> <p>○学校以外でも中学生の方から元気な挨拶ができて気持ちが良い。</p> <p>○個々の性格の違いはあると思うが、優しい心、豊かな心は育っていると思う。</p> <p>○今年度も地域との強い関わりが生かされた、素晴らしい一人一研究発表会だった。</p> <p>○地域との触れ合いで、より優しい心が育ってきていると思う。</p>			学校の対応	<p>○一人一研究や郷土学では、地域の方々との交流を通して、地域の文化や自然について多くのことを学ぶことができた。この学びを日々の学校生活や今後に生かすことができるような指導を心掛ける。</p> <p>○生徒一人一人が自分の将来に展望を持てるように、計画的に将来についての学習を進め、キャリア教育を充実させる。</p> <p>○挨拶については概ね良好な結果である。今後も家庭、地域と連携した指導に努め、進んで気持ちのよい挨拶ができる生徒の育成に努める。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法	
健やかな体	7	⑦「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図っている。	教師	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付くよう指導している。	A	C	○朝の健康観察の結果から、朝食を食べていない生徒はいつも固定されている。粘り強く声掛けをしていきたい。 ●7については、家庭教育の面が大きすぎると思うので、引き続き、生徒・保護者に啓発していくしかないのではないかと。 ●7については「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身につくように学級の月目標にして頑張るなど、何か手立てが必要かもしれない。
			保護者	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	D		
			生徒	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	D		
	8	⑧体力や運動技能の向上への取組を実践している。	教師	しっかり運動することができるよう指導や助言ができています。	A	A	○昼休みなどに仲良く体育館で体を動かす生徒が多い。 ○生徒の体力については、体育の授業や持久走の成果が出てきていると感じる。
			保護者	部活動を通して、お子さんの体力や技能、個性が伸びてきている。	A		
			生徒	体育の授業や部活動に意欲的に取り組んでいる。	A		
	9	⑨自尊感情や自己肯定感を育てている。	教師	一人一人のよさを認め、個性を生かすようにしている。	A	A	○前期の結果より子供たちの自己肯定感が上がっていてうれしい。これからも小さなことでも褒めていきたい。 ●日頃から生徒一人一人とのコミュニケーションを大切にしたい。
			保護者	お子さんのいいところを認めるようにしている。	A		
			生徒	自分にはよいところや強みがある。	A		
評価委員意見	<p>○中学生になると、ダイエットとして朝食を抜く生徒もいるそうです。朝食は一日の活力源。保護者には朝食の大切さを自覚してほしいです。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」は家庭環境や親の生活ペースにも影響がある。家庭への啓発を粘り強く続けてもらいたい。</p> <p>○少人数では、部活動も選択肢が少なく大変な状況もあるのではないかと。</p> <p>○思春期の生徒たち、先生方が一人一人を認め、大切にされていることが、心や身体の健やかな成長につながっている。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の評価が、教師と家庭とのギャップが大きい。一度、就寝時刻や起床時刻などの生活習慣のアンケートを取ってみたいかどうか。</p> <p>○早寝・早起きは得意、不得意があるので個々の意識が必要。</p>			学校の対応	<p>○少人数の利点を生かし、生徒一人一人に活躍の場を設定することにより、生徒の自己肯定感が向上した。これからも、声掛けやコミュニケーションを大切に、満足感や達成感が味わえるような指導に努める。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の項目については、生活習慣のアンケートを実施し、保護者と連携を取りながら粘り強く啓発する。</p>		

重点目標	評価指標			評価	評価	○考察 及び ●改善方法
学校・家庭・地域の連携	10 ⑩学校は教育活動についての情報を発信している。	教師	分かりやすく親しみやすい通信やHP作りに努めている。	A	A	○校長先生のホームページでの情報発信、家庭や地域で楽しみにしている方が増えてきている。 ○学校のHP、保護者からも声を掛けていただくことが多い。毎日更新して下さって本当にありがたい。
		保護者	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	A		
		生徒	学校からのプリントは、必ず家の人に見せている。	A		
	11 ⑪行事等が適切に設定され、保護者が参加できている。	教師	行事の内容がよりよいものになるよう、工夫や提言をしている。	A	A	○2学期は、様々な学校行事の中で、少人数の良さを生かし、一人一人が持ち味を発揮できる機会を多く作ることができた。
		保護者	学校の行事は、お子さんが意欲的に取り組める内容である。	A		
		生徒	学校の行事に意欲的に取り組んでいる。	A		
	12 ⑫安心・安全な教育環境づくりに努めている。	教師	家庭や地域と連携し、安心・安全な教育環境を保持している。	A	A	○毎月の安全点検で、気になるところをチェックし、早目に対応できた。
		保護者	安心してお子さんを送り出せる教育環境になっている。	A		
		生徒	家庭や地域、学校に支えられ、安心して学校生活を送っている。	A		
評価委員意見 学校関係者	<p>○日吉中学校の校歌は管内でも一番すばらしいと話された先生が、「この校歌をなくさないようにみんなが頑張って。」と話されたことが忘れられません。（おそらく統合、合併にならないようにと言ったのだと）一年でも長く存続することを願って、今後も見守っていきたいと思います。</p> <p>○学校通信やホームページなどは、生徒の活動の様子が分かりやすい。</p> <p>○情報発信がよくできている。ホームページは見ごたえ、読みごたえがあり、充実している。</p> <p>○興味を持ちやすいホームページで、楽しく見させてもらっている。</p>			学校の対応	<p>○地域コーディネーターと連携して、中学生が地域のためにできる活動を行う。</p> <p>○環境整備や安全点検を充実させ、気持ちのよい学習環境を維持できるように努める。</p> <p>○学校行事は連絡時期や方法を工夫して、保護者や地域から多くの協力を得られるような工夫をする。</p>	